

・ビニール製品等を長時間重ねたままにしていると、変色の原因になる事がありますのでご注意ください。

③布張り

- ・毎日のお手入れは、ブラッシングや掃除機で織り目のほこり等を取り除いてください。
- ・コーヒー・お酒等で汚した場合は、中性洗剤を3～5%位にお湯で薄め、柔らかい布に浸し、軽く絞って表面をたたくようにして拭き取ってください。後は洗剤をよく布で拭き取り、自然乾燥をさせてください。
- ・毛脚のあるパイル織りは、パイルが起きないことがありますので、ご注意ください。

④合成皮革

- ・毎日のお手入れは、柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。
- ・汚れたときは、ぬるめの薄めた中性洗剤液に浸した柔らかい布でよく拭き取り、その後水で浸した布で洗剤液をよく拭き取ってください。
- ・ビニール製品等を長時間重ねておくと、変色の原因となる場合がありますので、ご注意ください。

⑤プラスチック・金属部

- ・汚れたときは、3～5%に薄めた中性洗剤液を含ませた布で拭いてください。後は、水に浸した布で洗剤液をよく拭き取り、柔らかい乾いた布で軽く拭いたあと、自然乾燥させてください。
- ・金属部には、その後潤滑油を薄く塗り、柔らかい布で軽く拭き取ってください。

取扱説明書

椅子類

この度は、無印良品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この商品を末永く、安全にご使用頂くために、この「取扱説明書」をよく読み正しくご使用ください。
また、これらを保管し必要な時にお読みください。

お問い合わせ先

製品のお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくは下記お客様相談室までご連絡ください。

株式会社 良品計画

お客様相談室でんわ
0120-14-6404

目次	1. 棚の置き方
	2. 使用上の注意
	3. 保守・点検
	4. 手入れ方法

株式会社 良品計画

Ⓔ EXPLANATORY NOTE / CHAIR

1 椅子の置き方

- ①直射日光や熱・冷暖房機の強風などが直接あたらない様にしてください。
椅子が変形、変色又火災の原因となることがあります。
- ②椅子は水平に保つように置いてください。
椅子の変形やゆがみの原因となることがあります。
- ③床面がフローリングや畳などの場合は、床にキズをつける恐れがありますので敷物を敷くか、椅子の脚にフェルト等を貼って使用してください。
- ④床面がクッションフロアーの場合は、敷物などを敷いて使用してください。
木部の塗料と床面との反応による汚れ防止になります。

2 使用上の注意

- ①椅子の上に立ったり、とんだり、踏み台代わりに使ったり、不安定な姿勢で掛けたりしないでください。
安定をくずし、倒れてケガをしたり、椅子を破損する恐れがあります。
- ②キャスター（移動用小车）付の場合は、その上に立ったり、座ったまま激しく動かし、押しで遊んだりしないでください。
倒れてケガをしたり、他の物を壊したりする事があります。
- ③椅子を移動する時は、必ず杵を持ち上げて移動してください。クッション等を持つと落として、床を傷つけたりすることがあります。手でしっかりと持って落としたり、倒したりしないように運んでください。
- ④折りたたみ椅子等の操作で、手を挟まないように十分注意してください。
ケガをすることがあります。
- ⑤肘や背もたれの上に物を掛けたり、乗ったりしないでください。特にキャスター付椅子の場合、体重をかけて立ち上がる時にもご注意ください。倒れてケガをする事があります。
- ⑥座った状態で椅子を傾けないでください。椅子を破損させたり、床面をキズ付けたリケガをする事があります。
- ⑦座る目的以外には使わないでください。また、保護者の目の届かない所で、お子様ひとりでは使わせしないでください。
思わぬケガのもとになる事があります。
- ⑧安全の為、破損・変形した椅子は、使用しないでください。又、修理及び改造は、製品の強度を弱めますので絶対にしないでください。
- ⑨回転式の椅子は下記の事項に注意してご使用ください。
イ 回転金具の部分や椅子の上部、下部の隙間に指をはさまないようにしてください。

特に小さなお子様には十分注意してください。

- ロ 座って前後に揺すったり、必要以上に回転させないでください。回転させる場合は椅子の中央に腰掛けて、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- ハ 椅子に不用意に寄り掛かったり、手をついたりしないでください。
- ⑩タバコの火等を椅子の座面等（布張り等）の上に落とさないでください。
火事の原因となります。

3 保守・点検

- ①脚（キャスター）、ネジ、金具類は、ゆるみやグリスがなくなかた時点検し、ゆるみははじめたらしっかり締めなおしてください。
ケガや破損、床面の傷の防止になります。又、キャスターの汚れは定期的掃除してください。
- ②虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。
放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

4 手入れ方法

- ①木部
 - ・塗装面のホコリは、柔らかい布又はハタキで軽く払ってください。硬い布でホコリのあるままでこするとこまかい傷がついて、かえって逆効果です。ふつう柔らかい布で乾拭きだけで十分です。
 - ・汚れのひどいときは、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後水で浸した布で洗剤分をよく拭き取ってください。次に乾いた布で軽く拭いた後、自然乾燥させてください。
 - ・化学ぞうきんを長い間接触させたままにしておくと、変色したり、表面がはげたりする事がありますのでご注意ください。
- ②革張り
 - ・毎日のお手入れは、柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。
年に2回は市販のレザークリーナーで磨いて十分乾燥させた後ウール地で拭いてください。
 - ・汚れた時は、中性洗剤を3～5%位にぬるま湯でうすめ、柔らかい布を浸しよく絞って表面をたたくように拭き取ってください。その後、水を浸した布で洗剤液をよく拭き取り、自然乾燥させてください。乾いたらレザークリーナーで磨くと理想的です。部分的だけでなく周囲もまんべんなく拭いてください。
 - ・靴クリーム・溶剤（シンナー・ベンジン等）は使用しないでください。